

## 「好き」でつながる日本と中東欧

国際交流基金ブダペスト日本文化センター  
岸野 彩花

国際交流基金ブダペスト日本文化センター（以下、JFBP）では、日本語専門家が JFBP 所在国であるハンガリー国内の日本語教育支援と JFBP における講座（以下、JF 講座）の運営を行い、日本語上級専門家が中東欧 12 か国（北マケドニア、クロアチア、コンゴ、スロバキア、スロベニア、セルビア、チェコ、ブルガリア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ポーランド、モンテネグロ、ルーマニア）の日本語教育支援を行っています。私は 2024 年 5 月に着任し、主に（1）JF 講座の授業・運営、（2）学習者奨励イベントの企画実施を担当してきました。今回は、（2）からハンガリー国内向けのアニソン・カラオケコンテストと中東欧向けのオンライン日本映画会をご紹介します。

### アニソン・カラオケコンテスト

2026 年 2 月 28 日、在ハンガリー日本国大使館、ハンガリー日本語教師会、JFBP の三機関共催で、初の「アニソン・カラオケコンテスト」を開催しました。音楽を通じた交流と新たな学習者支援の機会創出を目的としたイベントで、当日は 10 組の本選出場者が歌声を披露し、150 席の会場が満席になるほど盛況でした。

木村徹也駐ハンガリー大使による激励、JFBP 日本語専門家による大人気アニメの名言を交えた講評、日本語教師会による学習奨励のメッセージが会場を盛り上げました。日本の関連企業とハンガリーのサブカルエキスポ主催団体が協賛し、アニソンドダンスやパラパラのパフォーマンスも行われ、それぞれの場所でさまざまな形で日本と関わっていた方々が一堂に会す機会となりました。出場者の中には JF 講座の受講者もいて、歌手になりきって歌う新たな一面に驚かされました。また、長く日本語を使う場を離れていたという日本語専攻の学習者から、こんな機会を待っていたという声も聞かれました。



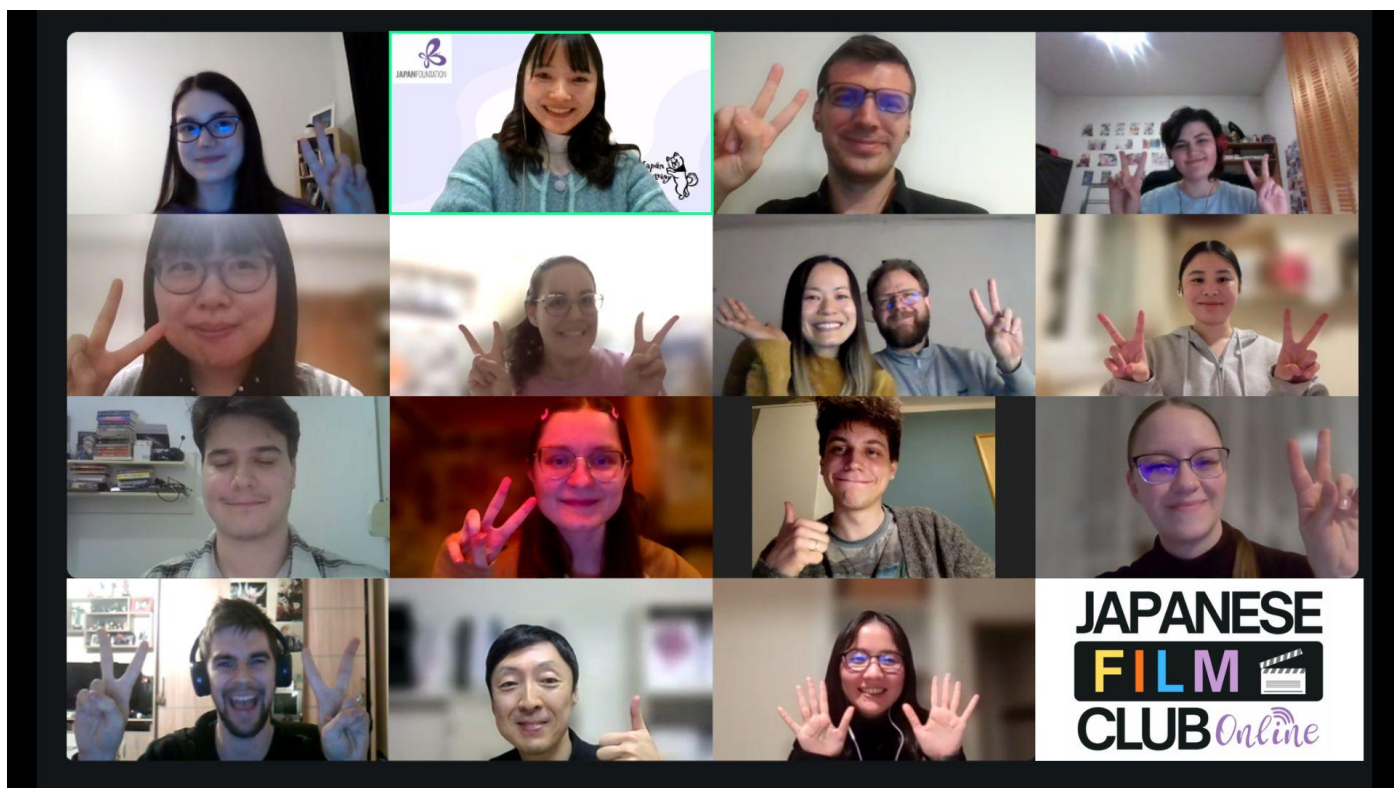
アニソン・カラオケコンテスト（2026 年 2 月 28 日）

関係各所と学習者奨励という目的意識を共有して実現に向けて調整することの難しさを感じる瞬間もありましたが、多くの方々にとって日本とのつながりが深まるきっかけとなっていたらうれしいです。

## オンライン日本映画会

JFBP では 2025 年 7 月から、国際交流基金が展開する映画配信プラットフォーム JFF Theater を活用した「オンライン日本映画会」を継続的に開催しています。各自で作品を鑑賞したあと、オンラインセッションで中東欧のさまざまな国の学習者・日本語母語話者と日本語で感想を共有します。JFF Theater は世界中の多くの国・地域（日本国内を除く）にて多言語字幕で日本映画を鑑賞できるので、初級後半の学習者を含む多様なレベルの学習者が参加しています。

映画好きの学習者に日本語使用の機会を提供するというのが企画の出発点にありましたが、参加者は増加傾向で、満足度も非常に高いです。「感想を言い合うことで新たな視点を得られた」という声も聞かれ、ある回では作品の中で多く登場した「たそがれる（劇中英訳：twilight）」ということばを巡り、どのような行動・心情かについて議論が盛り上がっていました。映画会は、母語話者か学習者かという属性を超え、ことばや文化について共に発見する時間となっているようです。今後もより多くの方に参加していただけるよう、広報や内容を工夫していきます。



オンライン日本映画会（2026 年 3 月 6 日）

着任から間もなく 2 年になります。2025 年度のレポート作成時に掲げた「はじめての 1 年でつながることができた多くの先生方と日本文化や日本語を愛するの方々のお力を借りながら、新たな講座やイベントを企画する」という目標は、想像よりも多くの方々のご助力を得て達成することができ

ました。2026 年度は中東欧の中でも比較的日本語の先生や日本語学習者の少ない国々に向けた講座やイベント実施を担当します。この 2 年間で学んだことを胸に、一つひとつの国・教育機関・(潜在的な) 学習者のみなさんと日本・日本語とのつながりの火を灯し、風を送り込むお仕事に邁進していきたいと思います。

以上